

# 音楽科学習指導案

令和8年6月11日(木) 学習指導Ⅰ 第1学年1組(第1音楽室) 指導者 紺野 伶音  
根岸 佑奈

【題材】 りずおで へんしん! (A表現(1)ア, イ, ウ(1), (2)ウ(ア), [共通事項] (1)ア)

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の感じとリズムとの関わりに気付き, リズムを生かして, 歌ったり簡易打楽器を演奏したりする技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の感じとリズムとの関わりを生かして, 歌うことに思いをもつ力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムに興味をもち, 楽しみながら歌おうとする態度</li> </ul>
子どもの実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の感じと拍との関わりに気付き, 拍によって, 歌ったり体を動かしたりしてきている。</li> <li>学習したリズムが少ないため, 曲の感じとリズムとの関わりやリズムの違いに気付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の感じと拍との関わりを生かし, 拍によって, 歌ったり体を動かしたりすることに思いをもってきている。</li> <li>曲の中からリズムを聴き取れていないため, 曲の感じとリズムとの関わりを生かして歌うことに思いをもつことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拍によって楽しみながら, 歌ったり体を動かしたりしてきている。</li> <li>曲の中からリズムを聴き取る経験が少ないため, リズムを生かしながら歌う楽しさを味わえていない。</li> </ul>
価値	<p>・リズムとは, 音符や休符を組み合わせて, 音楽の時間的なまとまりをつくっているものである。一定の間隔で刻まれる拍を学習した後に, リズムに着目して学習することで, 拍とリズムの違いや曲の感じとリズムとの関わりが生み出す面白さを感じることができる。本題材の導入において, 『ジャングルポケット』で動物の名前を1小節の拍の中に入れて歌う音楽遊びを行うことで, 1小節の拍の中に言葉のリズムを当てはめて歌う楽しさや, 動物の名前の音数の違いによるリズムの違いに気付くことができる。『しろくまのジェンカ』は, 四分音符と四分休符を組み合わせた4小節のまとまりになっているジェンカのリズムが繰り返される曲である。休符を含むリズムであるため, 音符が連続するリズムよりもリズムのまとまりを聴き取りやすい。また, 同じリズムが繰り返されるため, 感覚的にリズムを捉えやすくなり, 曲の感じと結び付けながら, リズムが生み出す曲の面白さを感じられるようになる。『ぶんぶんぶん』は, 蜂が野原を飛んでいる様子を表した曲である。蜂の羽音や様子が歌詞で表されていて, 体を動かしたり簡易打楽器で演奏したりしながら歌うことで, 蜂の様子が想像しやすく, 曲の感じを感じ取りやすい。題材を通して, 拍によって歌うだけでなく, リズムに合わせて, 体を動かしながら歌ったり簡易打楽器を演奏しながら歌ったりすることで, リズムやリズムのまとまりに気付き, 曲の感じとリズムとの関わりから生まれる曲の面白さを見いだすことができる。</p> <p>・『ぶんぶんぶん』で, 違いのある2つのリズムに合わせて体を動かしながら歌うことは, 2つのリズムを比較し, リズムの違いによって曲の感じも変わることを実感できるため, 曲の感じとリズムとの関わりに気付ける。</p>	<p>・可視化されたリズムに合わせて, 手拍子をしたり体を動かしたりしながら歌うことは, 曲の中からリズムを聴き取りやすくなるため, 曲の感じとリズムとを結び付けて歌うことに思いをもつことができる。</p>	<p>・様々な曲のリズムに触れることは, リズムの違いによって曲の感じが変わる面白さを感じられるため, リズムに興味をもち, リズムに合わせて, 歌ったり簡易打楽器を演奏しながら歌ったりすることを楽しめる。</p>
見方・考え	音楽に対する感性を働かせ, 音や音楽をリズムとその働きの視点で捉え, 自己のイメージや感情と結び付けて表現すること。		
今後の学習	2年「リズムをかさねてたのしもう」において, 拍によって異なるリズムを重ねて表現することにつながる。		

## 指導と評価の計画

目標	リズムのまとまりに合わせて、体を動かしたり簡易打楽器を演奏したりしながら歌う活動を通して、曲の感じとリズムとの関わりを生かして歌うことを楽しむことができる。		
評価 規準	(①知・技) 曲の感じとリズムとの関わりに気づき、リズムを生かして、歌ったり簡易打楽器を演奏したりしている。 (②思・判・表) 曲の感じとリズムとの関わりを生かして、歌うことに思いをもっている。 (③主体的態度) リズムに興味をもち、楽しみながら歌おうとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
であう	1	○『ジャングルポケット』の拍にのって、動物の名前を様々なリズムで歌い、学習のめあてをつかむ。 学習のめあて 色々なリズムで変身して遊ぼう	○拍にのって動物の名前を様々なリズムで歌うことを楽しめるように、名前の音数が違う動物を提示し、いくつかのリズムを比べながら動物になりきって歌う機会を設定する。
追求する	2	○『しろくまのジェンカ』のリズムのまとまりに合わせて、体を動かしたりカスタネットを打ったりしながら歌う。  2 ○『ぶんぶんぶん』のリズムを生かして歌う。 (本時2 / 2時間目)	○リズムのまとまりを聴き取ることができるように、リズムのまとまりに合った体の動かし方を提示し、友達と一緒に体を動かしながら歌う機会を設定する。  ○ジェンカのリズムを生かして歌うことができるように、リズムを可視化したカードを用意し、可視化されたリズムに合わせてカスタネットを打ちながら、歌う機会を設定する。  ○四分音符と八分音符のリズムの違いに気づけるように、違いのある2つのリズムに合わせて体を動かしながら歌って比較する機会を設定する。  ○曲の感じとリズムとの関わりを生かして楽しく歌うことができるように、「おいけのまわりにのぼらがさいたよ」の部分のリズムを考える機会を設定する。
・ま 生と かめ する	1	○今まで学習したリズムを生かして、学級で選択した曲の感じに合うリズムを試して歌う。	○曲の感じに合うリズムを考えながら楽しく歌えるように、今まで学習したリズムを黒板に提示し、歌集「風の子」の中から子どもが選択した曲に合うリズム・パターンを考えて歌う機会を設定する。
			評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 ◇拍にのって、動物の名前を様々なリズムで歌うことを楽しんでいる。 <表現③>  ◇リズムのまとまりを聴き取り、リズムに合わせて体を動かしながら歌って気付いたリズムのまとまりについて友達に伝えている。 <発言①>  ◇ジェンカのリズムに合わせてカスタネットを打ったり、カスタネットの音に合わせて歌ったりしている。 <表現①>  ◇2つのリズムの違いと曲の感じとの関わりを友達に伝えている。 <発言①>  ◇曲の感じとリズムとの関わりを生かして歌うことについて思いをもち、リズムを考えてタンブリンを打ったり、タンブリンの音に合わせて楽しく歌ったりしている。 <表現・学習シート①②③>

## 本時の学習（5／6時間目）

ねらい ペアで「おいけのまわりにのぼらがさいたよ」の部分のリズムを、タンブリンで打ったりタンブリンを打ちながら歌ったりするなど、音で試して考える活動を通して、曲の感じとリズムとの関わりを生かして、表したい蜂の様子を想像しながら楽しく歌うことができる。

評価規準 曲の感じとリズムとの関わりを生かして歌うことについて思いをもち、リズムを考えてタンブリンを打ったり、タンブリンの音に合わせて楽しく歌ったりしている。

<表現・学習シート①②③>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p><b>1 本時のめあてをつかむ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前は、『ぶんぶんぶん』で元気な蜂さんや、強そうな蜂さんなどに变身しながら楽しく歌ったり、リズムをタンブリンで打ってみたりしたよ。</li> <li>・「おいけのまわりにのぼらがさいたよ」のリズムを変えると色々な蜂さんに変身できそうだな。私も色々な蜂さんになれるようにリズムを考えて变身しながら楽しく歌いたいよ。 (目的意識)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時に様々な蜂になりきりながら楽しく歌ったことを想起できるように、リズムから想像してなりきった蜂について問いかける。</li> <li>○様々な蜂になりきりながらリズムを考えて楽しく歌うという本時の見通しをもてるように、「おいけのまわりにのぼらがさいたよ」の部分でタンブリンのリズムが異なる2つのパターンを歌って演示し、相違点や想像できた蜂の様子、他にも变身できそうな蜂の様子を問いかける。</li> </ul>
<p>めあて：リズムを考えて、色々な蜂さんに変身しながら歌おう</p>	
<p><b>2 想像した蜂の様子に合うリズムを考えて音で試したり、友達と音を聴き合ったりする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちは、強そうな蜂さんに変身したいよ。リズムは、細くない方が強そうな感じがするから、「たんたんたんうんたんたんたんうん」にしたいな。試しにタンブリンを打ちながら歌ってみよう。</li> <li>・歌ってみたら、リズムが細くないから、強そうな蜂さんに変身できたと思ったよ。次は、元気な蜂さんに変身したいな。</li> <li>・友達はどんなリズムで元気な蜂さんに変身しているのかな。元気な蜂さんに変身している友達を探して、リズムを教えてもらったり歌を聴かせてもらったりしたいよ。友達のところに移動してみよう。</li> <li>・細かいリズムでタンブリンを打ちながら歌っていたから、元気に飛び回る感じがしたよ。私たちも細かいリズムで元気な蜂さんに変身してみたいな。</li> <li>・細かいリズムを真似してみよう。「たんたんたんうんたたたたたんうん」にしてみたら、元気に飛び回っている蜂さんに変身できそうだよ。元気な蜂さんを表すことができたから友達に聴いてもらいたいよ。</li> <li>・ステージで発表したら、聴いてくれた友達が、細かいリズムだから元気な感じがして面白いと言ってくれたよ。元気な感じがすると言ってもらえて嬉しかったよ。</li> <li>・細くないリズムを選んだら強そうな蜂さんに変身できたよ。細かいリズムを選んだら、元気に飛び回る蜂さんに変身できたよ。色々なリズムで蜂さんに変身して歌えて楽しかったよ。 (目的を達成した意識)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアで考えたリズムを、タンブリンで打ったりタンブリンを打ちながら歌ったりするなど、音で試して变身したい蜂の様子と合っているかを考えることができるように、ペアで变身したい蜂の様子と、選んだリズムの紙を貼り付けられる学習シートを用意し、变身したい蜂の様子やリズムを問いかける。</li> <li>○变身した蜂の様子とリズムとを結び付けることができるように、考えたリズムを音で試して、リズムから感じた蜂の様子を問いかける。</li> <li>○子どもの必要感に応じて、友達に自分たちの歌を聴いてもらったり友達の歌を聴いたりすることができるように、自分たちのレジャーシートを動かして、音で試したり聴いたりする場所を自由に選ぶよう促す。</li> <li>○友達の考えたリズムや歌のよさを感じるできるように、伝わってきた蜂の様子とその理由となるリズムについて問いかける。</li> <li>○友達の歌のよいところを自分たちの歌に生かすことができるように、友達の歌を聴いて自分たちも真似できそうなことを問いかけ、音で試してみるよう促す。</li> <li>○友達から自分たちの歌のよかったところや面白いところを伝えてもらうことができるように、变身した蜂の様子を伝えてから友達に聴いてもらうよう促す。</li> <li>○様々なリズムを音で試しながら、自分が变身したい蜂になりきれたことを実感できるように、蜂に変身しながら考えたリズムを歌うよう促し、变身できた蜂とその理由となるリズムを問いかける。</li> </ul>
<p><b>3 本時の学習の振り返りをする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と音を出しながら变身したい蜂に合うリズムを考えられて嬉しかったよ。もっと色々な曲に合うリズムを考えて歌って遊びたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と音で試しながらリズムを考えたことで、リズムを生かして歌うことを楽しめた実感をもてるように、音で繰り返し試したり、友達と聴き合ったりしながら活動できたことを称賛する。</li> </ul>